

四区自治会・自主防災隊会議が開催されました。

10月27日（日）、自主防災隊による防災会議が開催されました。東日本大震災や九州地震、15, 19号台風の襲来による大規模な人的、物的被害が発生しています。

従来から災害発生時の行動パターンとして、自助―共助―公助が普遍的に行われていますが、最近「近助」ということが言われ始めています。

これは「共助」と思想的に通じる点がありますが「向う3軒両隣り」との平素からの緊密なコミュニケーションを図り、非常時に迅速に救助体制を機能させようという考え方です。

災害発生時には、高齢者や身体障害者等、弱者が被害を受け易く、これらの人達に対する「避難行動要支援体制」づくりを自治会としても進めています。

災害発生時における対処の一助として、ハザードマップの活用があります。

以前、戸別配布されたこともあります。 「藤沢市公式ホームページ・ハザードマップ」で見ることができます。

又、水難者に対する救助の一つとしてロープを使用する方法がありますが、そのロープワークについての実技講習を行いました。





